

# 「骨髄移植医療体制の理想を求めて」 第2回シンポジウム大阪で開催

## 全国協議会 ニュース

発行所  
全国骨髄バンク  
推進連絡協議会  
〒130 東京都新宿区  
愛住町23-1  
Woody21-9階  
TEL.(03)3356-8217  
FAX.(03)3356-8637  
発行責任者  
渡辺 孝一  
  
中郵便振替口座中  
00150-4-15754  
中銀行口座中  
さくら銀行 新宿支店  
普通 5666655

二月二十五日、全国協議会の主催(関西骨髄バンク推進協会)で公開シンポジウム「骨髄移植体制の理想を求めて」が開催され、百名を超える参加者が熱心に耳を傾け、質疑を重ねました。



シンポジウムは三田村全国協議会事務局次長(静岡)の司会で進行し、冒頭陽田運営委員長(福島)の挨拶で始まり、陽田委員長は、これは去年八月東京で行われたシンポジウムに続くものであり、今後も全国で同様のものを開き、患者救済のため真に機能する理想の医療体制作りの検討の場であることを強調しました。



「佐藤きち子患者支援基金」は昨年東京の会により創設されましたが、その運営を全国協議会に移すことで合意が成立していました。移管の作業は二月までに、東京の会からの引継ぎが完了しました。

## 韓日骨髄バンクフォーラム報告記 「有意義だった三日間の訪韓」 全国協議会副会長 大谷貴子



「私、ソウルに行って骨髄バンクのことを広めてくるねん」とボソッと言ったとき、東ちづるさんが「私も行くぞ」と軽いノリで珍道中がはじまりました。

二月九日ソウル入りしてすぐに東さんの友人の肝入りでKBS S国営放送に出演。私達の日本語が流れたのです。六分間とはいえ、骨髄バンクの必要性を伝えられたことは、大きな収穫でした。翌日には、知らないオバサンに街角で「見ましたよ。頑張ってください」と声をかけられる感激。

翌十日は、移植病院へお見舞いボランティア。クリーンルームもとても充実し、非血縁者間骨髄移植を受けた患者さんものんびりとTVを見ている。数年前には考えられなかった光景がありました。また小児ガンの患児達を市民全体で応援し、治療費の援助、患児の兄弟への援助、患児が楽しめるログハウスの建設など、優しさと強さがあると感じました。

三日目の十一日は、いよいよ「韓日骨髄バンクフォーラム」の開催。日本青年会議所医療部会主催で、韓国青年会議所のオオモノ出席を依頼。そこへ韓国骨髄バンクの主要メンバーと私達と総勢四十人が同じテーブルに。東さんと私が日本でのバンク運動を話すと、熱心に質問が飛んできました。日本JICのメンバーが韓国JICのメンバーに協力を要請。韓国のみならず、香港、台湾などへも働きかけ、多くの患者さんと骨髄バンクへの支援を申し出て下さいました。フォーラムの最後は、不法滞在でありながらボランティアの支援で移植を受けた金さんのスピーチ。治療費の募金をした経緯も彼女から説明があり、日本政府、市民への御礼の言葉で締めくくられ、全員が感激のうちにフォーラムを終了することができました。

KBSの出演料を骨髄バンクに寄付をさせていただくと、日本側のバンクに対する情熱に敬服し、これからはそれに負けないよう啓蒙キャンペーンに力を注ぎます」とお礼状をいただきました。

韓国の方々が骨髄バンクを知る機会が多くあるなら、同胞愛精神でもっと骨髄バンクを大きくするだろうと感じました。

訪韓をきっかけに韓国と日本のみならずアジア全体の患者さんに生きるチャンスが広がることを願ってやみません。

とにかく有意義な三日間でした。このような素晴らしい機会を与えて下さった日本青年会議所の医療部会をはじめ多くの方々に感謝申し上げます。

フォーラム風景(写真提供:遠藤允氏)

### 骨髄バンクの最新情報をお知らせする——骨髄バンクNOW

★中国・四国地区骨髄バンク推進連絡会議開催  
2月15日(木) 広島市において、厚生省出席の下、中国四国各県の県庁、広島市、日赤データセンター、ボランティア団体、財団(事務局、普及広報委員、調整医師、コーディネーター等)の関係者が一堂に会し、普及啓発やドナー登録推進、役割の確認、現場での問題点などについて意見交換を行いました。

★時間外・休祝日のフリーダイヤル開設  
政府広報TVスポット(蔵間さん編)放映に伴い、2月14日~4月14日まで平日の電話受付時間の延長、休祝日の新設を行います。合わせて、問い合わせ状況の調査を行い、ドナー登録推進への足がかり

★骨髄バンクへのお問い合わせは★  
フリーダイヤル0120-377-465

【検査済ドナー登録者】	69,690人【
【患者登録者】	3,753人【
【移植件数】	635件【

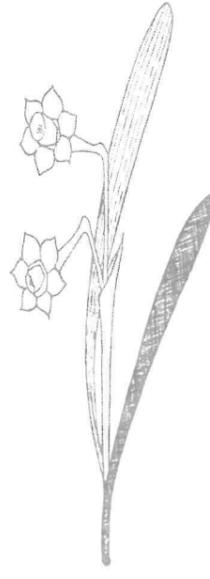
(1月末現在)

## 第四十八回 運営委員会報告

二月十八日、第四十八回運営委員会が全国協議会事務局で開かれました。主な決定事項は次の通りです。

- 第七回全国協議会総会(骨髄バンク全国ボランティア大会) 96年6月1~2日 苫小牧・市民会館大ホール
- 財団普及広報委員の推薦 三名の推薦を決定
- 財団、厚生省に対し、骨髄提供年齢の拡大や登録拡大のための具体策、等について申し入れることを決定
- 情報誌「骨髄バンク」第二号の編集方針の検討着手
- 「骨髄移植医療体制の理想を求めて」運動の具体化に向け検討着手

●全国協議会会議日程 三月十七日代表者会議 五月十九日、七月十四日運営委員会(事務局)



# 各地のたより

各地のたよりを写真添えてお寄せ下さい。

## 山形 映画「金色のクジラ」製作運動に連帯

「骨髄バンクを支援する山形の会」は、二月十二日で一歳になりました。未だ、ヨチヨチ歩きです。山形支部、庄内支部と、各々の地域で活動している現状です。山形支部では現在、映画「金色のクジラ」製作運動に賛同し、全国的な運動に連帯する形で、「映画「金色のクジラ」を作るやまがたの会」を発足しようと考えています。三月初旬、岸川悦子さん(原作者)をお迎えし、結成する為、世話人(県民に運動参加を呼びかけて行く呼びかけ人)になってくださるよう、著名人に打診しているところです。白血病・バンク運動についての正しい認識を広める為にも、会員確保の為に、この映画化運動が山形のより多くの方々の理解と協力で、成就する事を願って止みません。



今年、元日に佐賀新聞に、代表(職持)の顔写真とバンク活動記事が大きく掲載され、良いスタートとなりました。一月に開催された市役所でのパネル展では、手書きによるパネルでしたので、新しい内容を組み入れ、程よい彩色図で啓発効果の手応えがありました。二月四日・六日に開催された県健康増進課主催の、「わかすフェア」では、腎・アイバンクと、肩を並べてPR。三バンクの紹介を一枚にしたチラシを配布物六千部に挿入しました。また、当フェアで骨髄バンクハート型風船が、大変好評でした。また、二月は、患者家族等から問い合わせが四件ありました。

## 九州 今年もやります! 佐賀支部

今年、元日に佐賀新聞に、代表(職持)の顔写真とバンク活動記事が大きく掲載され、良いスタートとなりました。一月に開催された市役所でのパネル展では、手書きによるパネルでしたので、新しい内容を組み入れ、程よい彩色図で啓発効果の手応えがありました。二月四日・六日に開催された県健康増進課主催の、「わかすフェア」では、腎・アイバンクと、肩を並べてPR。三バンクの紹介を一枚にしたチラシを配布物六千部に挿入しました。また、当フェアで骨髄バンクハート型風船が、大変好評でした。また、二月は、患者家族等から問い合わせが四件ありました。

## 札幌 マロー博士で雪まつりに参加



草の根的にがんばっています。今年も、やります。やっています! 最高気温が氷点下10度とさびしい寒さの中での作業でしたが、全国あちこちのお国ことばで話しかけられたり、励まされたこととで、あったかい気分で作ることができました。また、「お母さんマロー博士ってなあに?」という声に説明文を読んで下さっている姿を見て、マロー博士と骨髄バンクを少しでも知ってもらえることができたのでは、と思っています。(神戸)

## 奈良 吉川幸雄君作品展

名の参加でした。前半は日中の最高気温が氷点下10度とさびしい寒さの中での作業でしたが、全国あちこちのお国ことばで話しかけられたり、励まされたこととで、あったかい気分で作ることができました。また、「お母さんマロー博士ってなあに?」という声に説明文を読んで下さっている姿を見て、マロー博士と骨髄バンクを少しでも知ってもらえることができたのでは、と思っています。(神戸)

## 東京 子どものための骨髄バンク入門

企画の方向性が決まったのはわずか一カ月前、それから準備というあわただしいイベントとなりました。タイトルは東京の会主催「うつみ宮土理さんと語るうの子どものための骨髄バンク入門」です。実は考えていた内容(それは秘密です)がつぶれ、急ぎょ企画を変更しての開催となりました。対象を子どもにしたのは、小さなうちから骨髄バンクを理解してもらおう、それがドナー登録に将来必ずつながるから、という単純な発想ですが、全国初の試みです。会場は府中グリーンプラザ「けやきホール」です。二月十一日にむけ、府中市教育委員会の協力で府中市の全小学校児童むけをはじめ、二万枚のチラシを会員と新任の地区普及広報委員の協力で配布しました。

## 静岡 県下各地で「あやちゃんの贈り物」展

「静岡骨髄バンクを推進する会」は、二月十二日で一歳になりました。未だ、ヨチヨチ歩きです。山形支部、庄内支部と、各々の地域で活動している現状です。山形支部では現在、映画「金色のクジラ」製作運動に賛同し、全国的な運動に連帯する形で、「映画「金色のクジラ」を作るやまがたの会」を発足しようと考えています。三月初旬、岸川悦子さん(原作者)をお迎えし、結成する為、世話人(県民に運動参加を呼びかけて行く呼びかけ人)になってくださるよう、著名人に打診しているところです。白血病・バンク運動についての正しい認識を広める為にも、会員確保の為に、この映画化運動が山形のより多くの方々の理解と協力で、成就する事を願って止みません。



「静岡骨髄バンクを推進する会」は、二月十二日で一歳になりました。未だ、ヨチヨチ歩きです。山形支部、庄内支部と、各々の地域で活動している現状です。山形支部では現在、映画「金色のクジラ」製作運動に賛同し、全国的な運動に連帯する形で、「映画「金色のクジラ」を作るやまがたの会」を発足しようと考えています。三月初旬、岸川悦子さん(原作者)をお迎えし、結成する為、世話人(県民に運動参加を呼びかけて行く呼びかけ人)になってくださるよう、著名人に打診しているところです。白血病・バンク運動についての正しい認識を広める為にも、会員確保の為に、この映画化運動が山形のより多くの方々の理解と協力で、成就する事を願って止みません。



## 心からのご寄付をありがとうございました

1月21日～2月20日まで

山崎久江	現金	5,000
古谷信人	現金	10,000
稲次康三	現金	2,000
白井佳子	切手	710
石田秀子	切手	900
東京海上火災保険長崎支店	切手	10,684
阿原一良	現金	10,000
五味香代子	切手	1,125
榎東洋化学研究所	切手	755
阿部栄	現金	10,000
ナカガワカズユキ	現金	10,000
カタギリカタシ	現金	1,000
東京港南ロータリークラブ	現金	100,000
佐藤まき子患者支援基金	現金	50,023
中央福祉医療専門学校	現金	500,000
文化祭実行委員会	現金	(敬称略)
井上享子	現金	(敬称略)

活動資金の援助をお願いします  
銀行口座  
さくら銀行 新宿支店  
普通 5666655  
郵便振替口座  
00150-4-15754  
全国骨髄バンク推進連絡協議会

フジテレビを見ても見ぬふりはやめましょう。

新補陀洛渡海記

白濁を抱える人々の生死観を描き、生命の連帯を叫ぶ骨髄バンクを正面からとりあげた問題作!

潮出版社  
〒102東京都千代田区飯田橋3-1-3

秦野純 (本名:三上修平) 愛媛骨髄バンクを支援する会代表

しるろがねの雲

新補陀洛渡海記

白濁を抱える人々の生死観を描き、生命の連帯を叫ぶ骨髄バンクを正面からとりあげた問題作!

潮出版社  
〒102東京都千代田区飯田橋3-1-3

沖縄県推薦優良図書  
沖縄県学校図書館協議会推薦

集 いっしょけんめい  
えきせひるゆき

那覇出版社  
〒901-11  
沖縄県那覇市南風原町字兼城515-5  
電話 098 (888) 2151

